

～戦争の過ちから学ぶ原爆・核兵器の恐ろしさ～



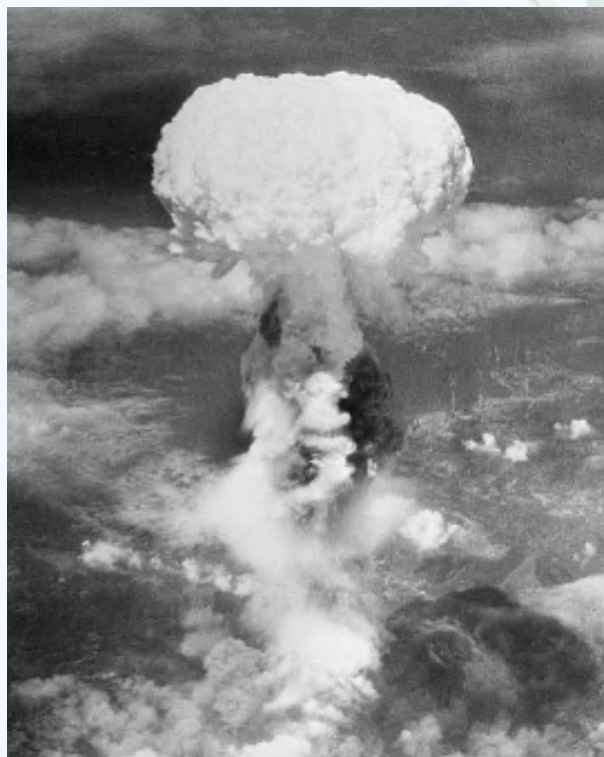
原爆展

ヒロシマ・ナガサキの あの惨状を

見て 聞いて 知る

そして考える

二度と過ちをくり返さないために



(長崎原爆資料館提供 米軍国立公文書館所蔵)

戦後80年の今だからこそ

伝えたい

伝えなければならない



(長崎原爆資料館提供 撮影者USBBSE)

日時：令和8年 1月18日（日曜日）10：00～16：00

場所：さいとぴあ（西部地域交流センター）1F 多目的ホール
福岡市西区西都2-1-1（JR九大学研都市駅 南口前1分）

【後援】福岡市・糸島市

福岡市教育委員会・糸島市教育委員会

主催：福岡市原爆被害者の会 西区支部

問い合わせ：ナガイ (090-9720-7476)

入場
無料

ホール展示物 10：00 ～ 16：00

- ・ 原子爆弾の被害写真・複写絵・スクリーン映写資料
- ・ 被爆体験に基づいた九州産業大学芸術部学生が描いた絵画

ホールステージイベント 13：00 ～ 16：00

- 13：00 ～ 14：00 被爆者の証言・講話 開 勇 氏
(福岡原爆被害者の会 証言者 長崎で被爆)
- 14：00 ～ 14：30 質問・意見コーナー
(被爆者と参加者で考える戦争と平和)
- 14：30 ～ 15：00 平和祈念 オカリナ演奏
(西区オカリナ演奏グループ「フレンズ」の皆さん)

同時開催：さいとぴあ 市民ギャラリー「ホワイエ」にて
「被爆被害写真・パネルの展示」
令和8年1月6日（9：00～）～1月30日（～22：00）

